

KYOWA REPORT

第125期 中間報告書

2022.4.1 — 2022.9.30



株主のみなさまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、台風などの自然災害で被災された方々や、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、復興支援をされている方々や医療従事者の方々をはじめとした関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が段階的に緩和されましたが、依然として続く世界的な半導体供給不足に加え、ウクライナ情勢や急激な円安進行による資源や輸入品の価格上昇など、先行きの不透明さが強まっています。

当企業グループにおきましても経営環境はますます厳しさが増しており、加えて環境問題など社会的課題解決への責任も高まっております。このような中、当企業グループといたしましては、事業体質の強化と拡販により収益の回復を図っていくとともに、SDGsやカーボンニュートラルなど社会的課題の解決に向けた活動も推進していくことで、株主のみなさまのご期待に応えてまいり所存です。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年12月 取締役社長 花井 幹雄

2023年3月期第2四半期の業績について

当企業グループの連結売上高は、当社の主要なお客様である自動車メーカーの減産による受注減などにより、215億7千2百万円（前年同期227億9千3百万円）となりました。利益面につきましては、売上の減少に加えて原材料や燃料、輸出に係る物流費の高騰があり、連結経常利益は1億3千3百万円（前年同期8億6千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千9百万円（前年同期6億2千4百万円）となりました。



2023年3月期の業績見通しと今後の取り組みについて

通期につきましては、当初は期後半から回復すると見込んでおりました部品不足による自動車メーカーの減産が長期化したことに加え、原材料や燃料・輸送費がさらに値上がりした当期前半の業績から、現状ではより厳しい見通しとなっております。こうした厳しい状況ではありますが、当企業グループは引き続き徹底的なムダ排除、ロス低減を推し進めるとともに、カーボンニュートラルな商品の開発やDXによる働き方改革などに取り組み、競争力を強化してまいります。また、個人向けマーケットで得た知見なども活かし、新規顧客開拓に注力し、新分野への挑戦を続けてまいります。

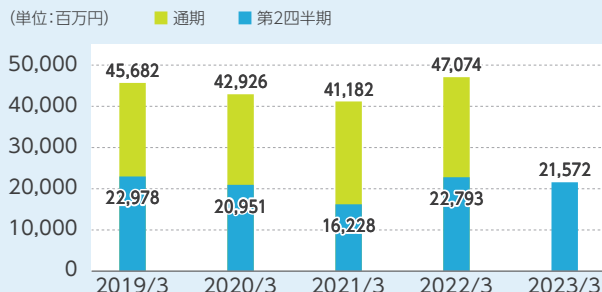
株主のみなさまへ

当企業グループは、環境にやさしい商品を提供しながら資源循環型の企業を目指し、SDGsの取り組みを通して持続的成長を目指してまいります。

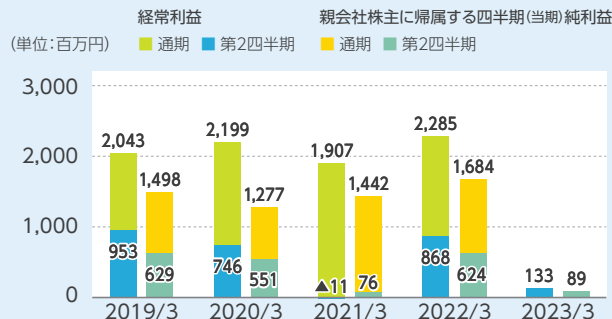
株主のみなさまには、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

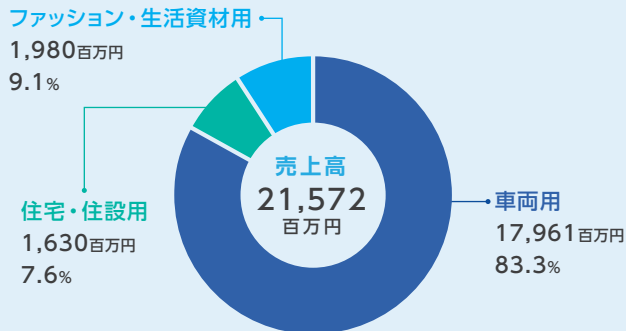
売上高



経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



用途別売上高(2023年3月期第2四半期)



当社商品がさまざまな車種に採用

当社の強みは、PU（ポリウレタン）、TPO（オレフィン系熱可塑性エラストマー）、PVC（塩化ビニル）といった異なる素材を用いた合成表皮材を生産し、さまざまな用途に応じた最適な商品を提供できることです。この技術を活かしお客様のニーズに合った商品を開発、提案することで、モビリティ分野では国内トップメーカーのさまざまな車種に採用していただくことができました。今後も、安全・安心・快適な商品を開発し、事業の拡大に努めてまいります。

新型プレミアムモデル車の室内空間に心地良さを演出する素材としてPU製品が採用されました。「高級本革」を追求した意匠と触感の良さから、インパネやドアセンター、コンソールに使われています。またドアアップーには、本革らしさのシボ表現にクッション性を備えたTPO製品が採用されました。

過酷な環境を走破し、かつラグジュアリーなデザイン性も併せ持つオフロードモデルに、耐久性と外観の品質を両立する素材としてPU製品が採用されました。また、孔を空けるパーフォレーション加工により、意匠性とともに通気による快適性の向上に貢献しています。

公共交通機関の役割を担うタクシーのグリップ部に、視認性に優れた鮮やかなイエローで、触感がソフトなPVC製品が採用されました。また、シートに使用されているPU製品には、安全・安心・健康を実現する抗菌機能を付与しています。



会社の概況

●株式の状況 (2022年9月30日現在)

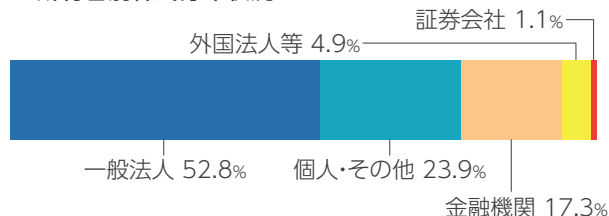
株式の総数

発行可能株式総数.....80,000,000株

発行済株式総数.....24,500,000株

株主数.....5,782名

●所有者別株式分布状況



●大株主 (上位10名)

(単位:千株)

株主名	持株数
トヨタ自動車株式会社	8,360
豊田通商株式会社	1,554
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,347
林テンプホールディングス株式会社	1,041
株式会社りそな銀行	862
K I S C O 株式会社	765
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	706
共和レザー従業員持株会	344
三木産業株式会社	302
長瀬産業株式会社	301

※当社は自己株式401,757株を保有していますが、上記大株主からは除いています。

●会社の概要 (2022年9月30日現在)

設立 1935年8月

本社 静岡県浜松市南区東町1876番地

資本金 18億1,000万円

従業員数 762名(ほか臨時従業員151名)

主な事業内容 下記製品の製造、加工ならびに販売

車両用 内装用合成皮革、内装用成形複合材
内外装用加飾フィルム

住宅・住設用 鋼板・合板用化粧フィルム

ファッション・生活資材用 家具用合成皮革、靴履物用合成皮革
雑貨用合成皮革

●事業所 (2022年9月30日現在)

本社	技術センター	QAセンター
東京営業所	阪神営業所	天竜第1工場
天竜第2工場	新城工場	浅羽工場

●役員 (2022年9月30日現在)

取締役社長 花井 幹雄	取締役 松田 行央
常務取締役 中村 直義	取締役 中村 修一
常務取締役 阿部 恵造	取締役 天野 利紀
常務取締役 河島 竜太	取締役 新井 民夫
常務取締役 柳川 大介	
常務取締役 竹内 泰憲	常勤監査役 磯部 明仁
取締役 稲垣 忠彦	監査役 田畑 隆久
取締役 鈴木 俊昭	監査役 堀崎 太
取締役 永田 努	監査役 中島 宏樹

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。 https://www.kyowale.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続が必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- *配当金に関する支払調書
- *単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

証券口座にて株式を管理されている株主様

▶▶ お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

▶▶ 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

NEW ホームページをリニューアルしました



内容の最新化と利用者目線の分かりやすさを追求し、8月下旬にリニューアルいたしました。また、リクルートに関するページも大幅に見直し、学生のみならずにも職場環境や業務内容、働く姿がイメージしやすいと好評をいただいております。
ぜひ、一度ご覧ください。

URL:<https://www.kyowale.co.jp/>

